

加西市議会だより

No.176

2023

9

第46回加西サイサイまつり
夏の夜空を彩る花火に歓声

市議会の新体制が決定しました (P4~5)

- 新議員の紹介 (P2~3)
- 6月定例会・議案審議レポート (P6~7)
 - ・議決結果 (P7)
 - ・一般質問 (P9~15)

加西市議会新議員の紹介

令和5年5月21日執行の加西市議会議員選挙によって、15名の議員が決まりました。任期は令和5年5月22日から令和9年5月21日までとなります。

新議員の顔ぶれと、それぞれの議員によるこれからの抱負や自己紹介を掲載します。(50音順、敬称略、●は所属会派、当選回数)



大前 裕也 議員

- 加西維新の会
- 1回

私は子供や高齢者が声を掛け合うまちが好きです。仕事と子育ての両立を諦めたくない。誰一人取り残したくないという思いで、加西市議会議員になりました。加西維新の会として①議員定数の削減②議員報酬の見直しを求めていく所存です。新しい風で加西市を改革したいと考えていますので、よろしく願い申し上げます。



北川 克則 議員

- 令和新風加西
- 2回

2期目は、総務常任委員長として、病院建て替えや学校再編などの重要な案件を担当します。市民と加西市の未来を勘案し、しっかりと取り組みます。また、これまで取り組んでいる地域交通では、更にMaaSも調査研究し、提案や実践に挑みます。固定観念にとらわれずに、誰もが幸せに暮らせる加西市を探求します。



佐伯 欣子 議員

- 清流会
- 2回

2期目のスタートをさせていただきました。目標課題として①産後ケアの充実、②障がい者、高齢者、女性、若者への環境整備、③安心安全な農産物の取組、④地域の特性を生かしたまちづくり(商業施設跡地誘致等)に取り組み、市や市民の皆様の幸せと発展のために、何があっても誠実、謙虚、前向きに頑張ります。



下江 一将 議員

- かさいを育む会
- 2回

デジタル化等で大きく変化する社会を的確に捉え、“お一人おひとりの悩みから自己実現までの想い”が大切にされる社会の実現を目指します。『現場で共に活動し生の声を聞き届けること』を信念とし、現職最年少ならではの若い視点で仕事・子育て・プライベートの充実、各分野における担い手不足の解消に取り組みます。



田井 真一 議員

- 改革未来
- 1回

「3つの変革」に取り組みます。「病院の変革」現行の病院整備計画を見直し、将来負担の少ない市民の皆様にも頼られる新しい病院を整備します。「教育の変革」小中学校再編計画を見直し、子供たちにとって最適な環境を整えます。「議会の変革」本来の機能が発揮できる議会に変えます。議員定数を削減します。



高橋 佐代子 議員

- 自民の風
- 4回

人生100年時代を迎え、高齢者が多くなるなか、1日でも長く地域で元気に暮らせたらと思ひ、民生児童委員を拝命した事をきっかけに健康づくり、介護予防事業、声掛けなど地域の仲間の方々と取り組んできました。これから4年間は、「高齢者にやさしいまちづくり」のため、高齢者目線で多くの提案等を行います。



高見 博道 議員

- 令和新風加西
- 2回

1期4年間の議員活動の経験を生かして、わが郷土と誇れる加西市となるように活動していきます。政治は決して遠い存在ではありません。子供から大人まで、一人一人の生活を支えているのが政治です。よりよい議員活動を行い、誰もが「加西市で暮らしてよかった」と感じる加西市をつくっていききたいと思います。



土本 昌幸 議員

- 公明党
- 6回

安全で安心して暮らせるまちづくりを掲げて6期目の当選をさせていただきました。この4年間は地域防災力の強化、青少年の健全育成と豊かな人間性を育む教育の推進、お年寄りが元気で長生きできるための体制づくり、加西病院の医師確保と市民からの信頼性向上、企業誘致による雇用対策と税収向上等を中心に取り組みます。



中右 憲利 議員

- 令和新風加西
- 4回

4期目になります。2期目は議会だより編集委員長、総務常任委員長、3期目は会派(令和新風加西)幹事長、副議長として議会運営に関わってきました。今期も会派幹事長、建設経済厚生常任委員長として、自分も含めて所属の各議員が個々に知識、知見を深め、行政に提案等をして加西市の発展につながる運営をしたいと思います。



西脇 親 議員

- 改革未来
- 1回

「地域と共に加西の確かな未来へ」を基本姿勢とし、皆様の声を糧に『子育て・教育環境の充実』『持続可能な農業の推進、商工業の活性化』『加西病院の再構築による適正医療の提供、高齢者や障がい者へのきめ細かな福祉』等、安心して暮らせ、誇りに思える加西市の実現に向け、常に“市民感覚”を持って取り組んでまいります。



橋本 真由美 議員

- かさいを育む会
- 1回

子育て中だからこそ感じる市民としての声をしっかりと届け、加西市に住む全ての方々、支援を必要とされる方、そうでない方、誰一人取り残されることのない社会を目指します。愛をモットーに不登校や貧困の経験を生かし、子供たちから子育て世代、高齢者の方まで身近に感じられる議員として活動してまいります！



深田 照明 議員

- かさいを育む会
- 2回

診療放射線技師の経験を生かし、医療と福祉の充実でみんなを笑顔にする加西市づくりに頑張ります。笑顔は健康で安定した生活の基本であり、特に加西病院の健全運営と新病院建設計画推進、高齢者・児童・障がい者など社会的弱者を守る福祉体制強化、通学路安全対策、道路整備などの社会基盤整備に尽力してまいります。



丸岡 弘満 議員

- 改革未来
- 4回

市民に喜ばれ信頼される議会の実現と開かれた議会を目指し、行政の監視チェックの強化と議会改革に取り組みます。また、これまでの市のムダな事業見直しを推し進め、子育てや若い世代への手厚い支援だけではなく、高齢者の健康増進支援強化や物価高騰対策等、加西市に住む誰もが幸せになる幅広い施策の提言に努めます。



森田 博美 議員

- 清流会
- 7回

補欠選挙を含めて今期で7期目となりました。初心を忘れることなく、市民の期待に応えられるよう、加西市のために真剣に取り組んでいきます。特に、加西病院の建て替えや小中学校再編等の方針変更については、市民の混乱や不安が増幅されないようにしっかり審議し議論して、最良の結果を追求する決意です。



森元 清蔵 議員

- 清流会
- 9回

日々の暮らしのなかで、困ったときに相談ができ、不安が解消され、安心して暮らせる加西市政を目指します。市民の声を市政に届け、きめ細かな政策、制度を確立していきたい。議案に対しては、市民本位の視点で議論を尽くし、最良の決定を行います。加西病院の早期新築と、市内の公共交通網の整備に努めます。

市議会の新体制が決定

議長に丸岡弘満 議員、副議長に高見博道 議員 を選出

6月2日に開催された第302回臨時会において、議長・副議長をはじめ、常任委員会委員、審議会委員、一部事務組合議会議員が決定し、新しい体制がスタートしました。
なお、各委員の任期は2年間となっています。

議長・副議長就任の挨拶



議長 丸岡 弘満

このたび、栄えある第42代市議会議長に選任をいただき、身に余る光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

我々の生活に多大な影響を

及ぼした新型コロナウイルス感染症も第2類から5類へと移行し、市民の皆様のご日常生活が徐々に取り戻され、自粛ムードから少しずつ緩和の方向へ向かっています。一方、市政においては、新病院建設や学校再編問題、道の駅・未来型児童館建設など、数多くの課題が山積し、二代表制の一翼を担う市議会として、執行機関とは緊張感を持って監視機能を果たします。また、議長としても公正・公平な議会運営に努めるとともに、市民に開かれた信頼される議会を目指し、『議会改革』にも全力で取り組む所存です。

今後とも、皆様の温かい御支援並びに、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 高見 博道

日頃は議会活動において温かい御支援をいただき、誠にありがとうございます。

5月の選挙で12年ぶりに市長が交代し、副市長並びに教育長も新たに任命され新しい体制の加西市が始まりました。また、議会においても4年に1度の選挙で新しい15名の議員が選ばれました。その議会の中で、議長の補佐役としてしっかり責務を果たしたいと考えております。コロナ禍で思うように活動できなかった期間が終わりました。本来ですと、市民の皆様と対面でお話をするべきところが思うようにできませんでした。しかし、この間にデジタル化が進み、様々な手法が生まれたともいえます。

この経験を生かし、コロナ禍前にも増して市民の皆様にご理解いただける議会になるよう努力してまいります。皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

この経験を生かし、コロナ禍前にも増して市民の皆様にご理解いただける議会になるよう努力してまいります。皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

会派の構成

会派名	人数	代表者	会 員		
清流会・かさいを育む会 ※統一会派	6	森元清蔵	佐伯欣子 下江一将	森田博美 橋本真由美	深田照明
改革未来・自民の風 ※統一会派	4	丸岡弘満	田井真一	西脇 親	高橋佐代子
令和新風加西	3	中右憲利	高見博道	北川克則	
公 明 党	1	土本昌幸			
加西維新の会	1	大前裕也			

※統一会派…複数の政党または会派で構成する一つの会派。

議会運営委員会（定数7人）



（主な所管事項）

議会の会期や議案審議の方法などの議会運営、議会基本条例の検証を含む議会改革に関することなど

委員長	土本昌幸	副委員長	高橋佐代子
委員	佐伯欣子	委員	下江一将
委員	田井真一	委員	高見博道
委員	森元清蔵		

常任委員会

3つの常任委員会があり、議員は総務もしくは建設経済厚生いずれかに所属することになっています。予算決算は全ての議員で構成します。

総務常任委員会（定数8人）

（主な所管事項）

加西市の将来計画、広報、市役所の組織、職員の人材育成、情報化、防災、市民参画、税金や市の財政、入札、観光振興、幼保・学校教育、病院に関することなど

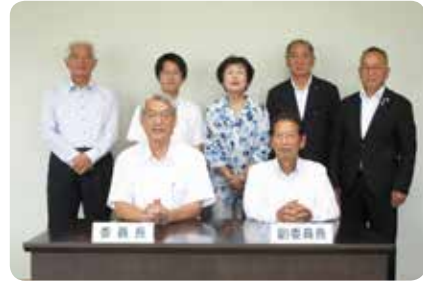


委員長	北川克則	副委員長	佐伯欣子
委員	田井真一	委員	土本昌幸
委員	橋本真由美	委員	深田照明
委員	丸岡弘満	委員	森元清蔵

建設経済厚生常任委員会（定数7人）

（主な所管事項）

高齢者や障がい者等への福祉施策、商工業・農業の振興、道路や河川改修、住宅や上下水道の整備、環境に関することなど



委員長	中右憲利	副委員長	西脇親
委員	大前裕也	委員	下江一将
委員	高橋佐代子	委員	高見博道
委員	森田博美		

予算決算常任委員会（定数15人）

（主な所管事項）

一般会計の当初予算、補正予算、決算に関すること

委員長	土本昌幸	副委員長	高橋佐代子
委員	全議員		

特別委員会

特別委員会は、現在は設置されていません。必要がある場合に置くことができます。

審議会委員・一部事務組合議会議員

名称	定数	委員
都市計画審議会	3	北川克則 佐伯欣子 森元清蔵
播磨内陸医務事業組合議会	2	田井真一 深田照明
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園議会	2	西脇親 橋本真由美
北はりま消防組合議会	2	下江一将 丸岡弘満
小野加東加西環境施設事務組合議会	3	高橋佐代子 中右憲利 森田博美



※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

加西インター産業団地 第2期事業の整備促進

概要 建築や開発行為が厳しく制限される市街化調整区域である加西インター産業団地第2期事業の整備予定地において開発行為を可能とするため、地区整備計画区域に第2期3工区地区及び5工区地区を追加するもの。

質疑

問 3工区、5工区での違いは。

答 建築できる主な建築物の用途として、3工区は貨物自動車運送業事業に係る施設が建築できますが、5工区ではできないという違いがあります。

問 今後の地域との取組予定は。

答 第1期事業と違う点は、加西産農産物の加工、販売、飲食を行う施設が建築できることです。現時点で企業側からの具体的な提案はありませんが、農産法の趣

議案第36号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

旨に合致すること、また地元からの要望もあり、進出の可能性を高めるため用途を追加しています。

討論

賛成

・第1期事業と同様に着実に進めていくことが重要である。加西市にとって産業振興は大変重要なことであり、子育てや福祉を行っていくことには多くの予算が必要になる。その財源を増やす意味においても、産業振興を図り、加西市の発展を促進する必要がある。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決



泉学童保育園の建て替え 工事が完了、2園体制へ

概要 老朽化した泉学童保育園の建て替えに伴い、入園希望者の増加に対応できるよう2園（泉第1学童保育園、泉第2学童保育園）体制とするもの。

質疑

問 なぜ、泉第1学童保育園と第2学童保育園の2つに分けるのか。

答 国の運営基準では1クラスの人数をおおむね40人以内と定めており、これを超える利用が見込まれる園は第1、第2の学童保育園という形で設置しています。泉学童保育園を改築するに当たり、4年生以上の希望者の受入れや夏休み期間の申込みなど、今後の利用を見込むと国の運営基準を超えるため、保育室を2部屋設置し、第1学童、第2学童とします。

問 子供の人数が増加する見込みについて。

答 加西インター周辺の産業団地の開発に伴い、殿原町でまちづくり協議会が立ち上げられ、土地利用

議案第37号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

計画を協議する中で住宅建設エリアの設定など、若い世代が住宅を建て、人口を増やすための取組も進んでいます。将来的にはこれらの受入れにも対応できればと考えます。

討論

賛成

・子供たちは、加西市の未来を担う大事な宝物である。その子供たちを安心して預けることができるよう、泉学童保育園を2園体制とすることは、子育て世帯への応援を促進することにつながると考える。(本会議)

議決結果

全会一致で
原案可決



市内周遊の観光ルート作成や 5月豪雨災害復旧対応など

議案第38号 令和5年度加西市一般会計補正予算（第3号）について

質 疑

観光コンテンツ造成支援事業委託料 600万円の増

問 事業の内容は。

答 観光庁の補助事業を活用し、鶉野フィールドミュージアムを起点に、サイクリングと北条鉄道のサイクルトレインを使って市内を周遊する観光ルートを作成し、飲食や買い物等の消費の増加を図ります。また、台湾をターゲットに、インバウンドの誘客プロモーションを展開します。

観光事業委託料 100万円の増

問 PRの方法と内容は。

答 観光業界向けに発行されているトラベルニュースに、鶉野フィールドミュージアムや北条の宿を中心とした内容を掲載し、加西市を全国的にPRします。

農業施設災害復旧事業費 150万円の増

問 5月の豪雨災害の状況と箇所は。

答 令和5年5月7日の豪雨被災について、市単独災害復旧事業補助金で対応します。吸谷町農道及び豊倉町ため池堤防のひび割れ、下宮木町及び西剣坂町の水路のり面の崩落、野条町ため池の取水施設付近の水漏れの計5か所です。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



議決結果一覧（全会一致で可決、同意した議案）

第302回 令和5年6月 臨時会

- 議案第32号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第33号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第34号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議員提出議案第1号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

第303回 令和5年6月 定例会

- 議案第35号 加西市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第36号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第37号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第38号 令和5年度加西市一般会計補正予算（第3号）について
- 議案第39号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第40号 副市長の選任につき同意を求めることについて
- 議案第41号 教育長の任命につき同意を求めることについて

請願の審査報告

請願第2号 オーガニック給食の実現に向けた取組みを求める請願について

請願趣旨 地場産有機食材の給食への使用は、子供たちの心と身体の健康を守るとともに、有機農業の活性化や移住定住促進、食育、ひいては生まれ育った地域へ誇りを持つことにもつながる。食材すべてを地場産有機食材で賄うことは非常に難しいが、心身の発達に悪影響が懸念される物質を避けることが難しい現在だからこそ、市として実現に向けて取り組んでほしい。

- ①食材選定基準において、異性化糖・遺伝子組換え・ゲノム編集作物・人工甘味料・健康上悪影響が指摘されている種類の添加物・農薬・除草剤不使用かつ地元食材を優先的に採用していくことを明記すること。
- ②オーガニック給食の実現に向けて、生産面を含む多角的な仕組みづくりを協議する場を月1回など定期的に設けること。
- ③オーガニック給食の導入に際しては、1学期に1回など回数を絞る、あるいは調味料から日本古来の伝統的な作り方をされたものに変更するなど、段階的に実現し、拡充を図ること。
- ④カゼイン・乳糖不耐症の問題をはじめ、家畜に使われるホルモン剤や抗生剤・遺伝子組換え飼料の影響も懸念されることから、アレルギーの有無にかかわらず、牛乳の選択制を導入すること。

7/13 総務常任委員会

質疑

- 問** 農薬等の使用と次世代への影響について。
答 (請願者) 子供たちへの悪影響が疑われるものは、極力避けるべきと考えます。
問 有機食材が調達できた場合のコストは。
答 (執行者) 負担はかなり大きくなりますが、保護者へ負担を求めることは理解を得にくいと考えます。

討論

- 賛成** 安全・安心な食の提供を考えていくべき。
反対 導入コストが高い上、有機農家が少なく供給が困難である。

議決結果

賛成少数により、不採択とすべきものと決定

7/20 本会議最終日

「請願項目については実現可能性が低いため採択できないが、趣旨について採択し、市がオーガニック給食の実現に向けて努力されるよう促していきたい。」という趣旨採択の動議が提案されました。

討論

- 賛成** 加西市は既に安全な給食の提供に取り組んでいるが、新体制の下でも進めてほしい。
反対 一旦取り下げ、加西市の給食と農業の現状に合った請願を再度提出してはどうか。

議決結果

賛成多数により、趣旨採択とすることについて可決



請願



動議

請願及び動議の全文は、こちらのQRコードからご覧ください。

議決結果 (○…賛成 ×…反対)

議案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	深田照明	高見博道	土本昌幸	田井真一	佐伯欣子	森元清蔵	森田博美	丸岡弘満	中右憲利	議決結果
請願第2号 オーガニック給食の実現に向けた取組みを求める請願について	趣旨採択を提案する動議が可決されたため、請願第2号の採決は行われません。															趣旨採択
請願第2号「オーガニック給食の実現に向けた取組みを求める請願について」につき趣旨採択を提案する動議	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議長	×	原案可決 (賛8、反6)

趣旨採択 … 請願の趣旨は十分に理解できるが、具体的内容を要望どおり実現することが困難な場合などに、「趣旨には賛成である」という意味で議決する決定方法のこと。

動議 … ある事柄を議題として取り上げてもらうために議員が行う提案のこと。動議が成立するには、提案者のほかに1人以上の賛成者が必要。

議員研修を実施しました

加西市議会基本条例では、さらなる議員の資質向上のため、議員研修の充実強化を図るよう定めています。令和5年5月21日執行の加西市議会議員選挙によって、15名の議員が決まりました。以降、新人議員研修や議会基本条例の勉強会、議員活動における注意点などのオンライン研修など、さまざまな研修を実施しています。今回は7月に実施した2つの研修をご紹介します。

今後とも様々な研修を通じて議員のスキルアップに努めていきます。

7月25日 ペーパーレス会議システム研修

令和4年12月定例会よりタブレット端末を導入し、会議等において使用しています。令和5年度はさらにデジタル化を推進するため、ペーパーレス会議や採決システムを導入し、使用方法等の研修を実施しました。



オンラインによる研修風景



採決システムの模擬画面

7月31日 普通救命講習

普通救命講習

全国的に、近年は地震災害に加えて豪雨災害等も多発しています。

加西市は比較的災害の発生が少ないと言われますが、万が一の場合に備え、普通救命講習を受講し、修了証の交付を受けました。



心肺蘇生法の実践風景

市政を問う!

一般質問

7月10日～11日の本会議では、13名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



高橋 佐代子 議員
(改革未来・市民の風)



新市長による機構改革について

重大なミスが起きるのではないかと危惧しています。

問 機構改革に当たり、私の提案と要望を申し述べたい。高齢化が進むなか、特に健康福祉部について、「長寿介護課」を「高齢者福祉課」に課名変更して2階から1階へ、また、「健康課」は場所が離れており好ましくない。そして、家族が御逝去され心労があるなか各種手続に来られた方のために「おくやみ窓口」を市民課に新設し、ワンストップで手続ができるようにする等、高齢者に優しい市役所実現をお願いしたい。

答 (市長) 提案や要望は、可能な限り、職員で検討して、取り入れられるものは取り入れたと考えます。

問 市役所へ電話すると「サービス向上のため音声を録音

させてもらう」というメッセージが流れるが、「不愉快だ」「クレーム扱いされる」と苦情を聞いた。市民にとって開かれた市役所、身近な市役所、親しみのある市役所であるべきだが、逆行しているのではないか。このメッセージを流す前に、市役所全職員を対象に接遇研修を充実していただきたい。

答 同様のメッセージは、県内29市のうち加西市を含め3市で流されています。今後、効果や課題を検討していきます。また、職員の接遇指導については、計画的に研修に参加するほか、職場での指導にも努めています。

※ 電話録音の告知メッセージは8月15日より廃止されました。

■その他の質問項目

- ・5月執行の市長と市議選について
- ・防災放送未整備について

問 新市長による機構改革は当然のことで、市長は市役所時代、総務部長を務められたこともあり、市民も期待している。市役所には考えられないような課名もあるため見直し、無駄と思われる事務事業の見直しや職員の斬新な発想による事業の展開と意識改革を期待したい。

答 (市長) 入札ミス、選挙の開票ミス、前市長退任にもかかわらず積極予算を組むなど、仕事の手順が分かっていない状況が見受けられます。管理部門をしっかりさせなければ、今後ますます



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)

加西病院の変革について



毎年 20 億円の繰入れが必要となります。

問 新病院建設費が、当初の 78 億円から 138 億円と大きく膨らみ、1 病床当たり 1 億円となっていることについて。

答 (市長) 138 億円になった時点で、本来は見直しだと思います。2021 年の 1 病床当たりの平均が 2,500 万円、物価高により 3,000 万円としても、140 床であれば、50 億円までです。138 億円の起債の返済総額は 200 億円、30 年間毎年 7 億円の返済、医療機器等を考慮すれば毎年 10 億円です。病床機能の見直しにより診療単価が 2～3 割減少するため、

問 現地での建て替えとなると、騒音や振動などによる診療への悪影響が想定される。別の平地の方が、建設費や維持管理費、アクセスの面でメリットがあるのでは。

答 (市長) 病院の建て替えは移転が基本で、工事中の騒音による診療への影響、入院制限による減収などを勘案すると、新しい場所で建設するべきです。病院と開業医とが連携できるような街づくり構想も検討します。

問 病床数、医療機能の再検討及び医師確保について。

答 (市長) 報告されているとおり、病床数 136 床、うち急性期病床 56 床、療養病床 80 床

とします。医師確保については、勤務環境を整備し、北播磨総合医療センターを核とした診療支援体制の中で連携を具体化するとともに、ドクターバンクも活用していきます。

問 地方独立行政法人化などの運営形態の抜本的な見直しなどによる経営改革と意識改革について。

答 (市長) 地方公営企業法の全部適用の下、病院事業管理者の責任と権限で運営ができており、北播磨総合医療センターとの連携等を想定すれば、現行形態での運営が適していると思います。今後、経営計画がはっきりしてきた時点で考えていきます。

■その他の質問項目

- ・小中学校再編計画について
- ・道の駅整備計画について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

学校再編等について



問 民輪前教育長が進められていた STEAM 教育について。

答 (市長) STEAM というのは文理融合ということで、本来大学、高校レベルの話です。義務教育ではもっと基礎基本に力を入れるべきと思っています。基礎基本の習得を目標に、考える力をつけていくという方針でやっていたらいいのではないかと考えています。教育の問題については新教育長と総合教育会議の場で協議したいと思っています。

問 来年の加西能を中止することだが、能では人間国宝の大槻文蔵さん、能楽協会理事長の観世鍔之丞さん、狂言では大スターの野村萬斎さんが、毎年加西市という田舎に来て演じてくださるといことは奇跡的なこと、また、こども狂言塾のレベル

も相当に上がっていて、能・狂言という伝統芸能は加西の新しい文化となりつつある。ぜひ市民の意見を聞いて判断していただきたいと思うが、いかがか。

答 (市長) 今回の中止については、市民の要望を聞いた上で判断したものです。加西能は 1 時間に 1,000 万円以上の費用がかかる上、それが東京に流れて地元貢献がほとんどないという声が多く寄せられました。こども狂言塾についても希望者が減っています。その予算で地域の伝統文化、祭りを継承するための支援をしてほしいという切実な声を聞いていますので、その方向性を政策として打ち出しました。

■その他の質問項目

- ・市立加西病院について



深田 照明 議員
(清流会・かさいを育む会)

新加西病院建設計画の方向性は



問 建設費総額が 78 億円から 138 億円に高騰した要因は。

答 基本計画では 78 億円、基本設計では免振機能等の追加で 98 億円、今年の実設計では 138 億円と急激に高騰しました。基本設計から実設計にかけての 40 億円増加の内訳は、建設資材の高騰約 24 億円、安全性、環境配慮等 8 億円、数量・仕様等の見直し 7 億円、システム更新 1 億円です。特に主要な建設資材で平均 13.3%、30% 以上アップしているものもあります。

問 新病院建設見直しについての市長の思いは。

答 (市長) 建設予算が 138 億円になった時点で再検討するのが常識だと思います。現計画では工事中の騒音、駐車場不足などにより患者数が減り、収入が二、三割は必ず減ると考えます。年に 3 割減で 15 億円、工事期間 3 年で 45 億円と大きな減収です。また、病院の方向性の変更により診療科、機能も変わり、診療単価も減って相対的に今より収入減になると考えます。そこで、新しく広い場所に移転して総合的な診療ができるような展開を図ります。

問 見直しについて市民や関係者の理解をどのように得るのか。

答 既に神戸大学や兵庫県、加西市医師会、商工会議所等

には現計画の凍結と見直しを伝えて理解を得ていますが、今後も市民や病院職員、関係者の声をしっかりと聞いていきます。

問 今後の建設スケジュールは。

答 基本構想、基本計画の見直し、用地選定などが必要となり、農地であれば農振除外や農地転用許可等に時間を要して計画期間が延びるおそれがあります。北播磨医療圏構想の中で 2030 年度に病床数 136 床を表明していますので、それを 1 つの目標に建設を進めていくことになります。

意見 医療者確保による経営的な改善を図る意味でも、見直し検討にはスピード感を持って取り組んでいただくとともに、市民や病院職員の思いを計画に反映し、最善の病院が早期に建設されることを望みます。



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)

行政の地域づくりへの支援とウクライナへの寄附について



問 ふるさと創造会議は、継続されていくのか、地域づくり交付金はこれまでどおり今後も交付されるのか。

答 (市長) ふるさと創造会議は、非常によい施策だと認識しており、今後も継続して、さらに発展した活動をお願いしたいと考えています。そのため、引き続き支援していく予定ですが、常により支援の在り方は、地域の方々と協議して検討していく必要があると思っています。

問 地域主体型交通について、市が主導権を持って地域間格差の是正を図ることも必要なのではないかと考えるが、加西市が目指す地域公共交通と地域主体型交通は？

答 地域主体型交通の導入については、地域公共交通導入の手引に基づいてアンケート調査を実施し、その結果を基に各ふるさと創造会議を中心に考えていただき、市はそれを支援しています。地域の課題解決として、ふるさと創造会議に担っていただいて実施できればと考えています。地域公共交通計画の中でも、地域内移動については地域主体型交通が役割分担するという方向で位置づけており、現状においてはそのように進めたいと考えます。

問 ウクライナへの 1,000 万円の寄附について、適正な判断による適正な支出であったと考えられているのか。

答 (市長) ウクライナの問題は国際問題ですから、一地方自治体、しかも何のつながりもない当市が出しゃばるようなものではないと考えています。1,000 万円もの予算を予備費から充当していますので、手続上は補正予算として予算議決、もしくは事件決議として審議を受けて議決を得なければよいことです。この件に関しては、事件決議として、なぜ議会の議決を得ていないのか不思議です。ただ、合法的に寄附されたということですが、この手続がなぜできなかったのか、不審に思います。



加西能・こども狂言中止と子育て環境について



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 加西能中止の理由とこども狂言の今後について。

答 (市長) 加西能が加西市の新たな文化として根づいてこなかったこと、費用が東京に流れ、地元貢献がほとんどないという意見が多くあり、地域で地道に頑張っておられる伝統文化、祭りの継承に予算を充てるために中止を決断しました。また、加西能とこども狂言は一体的なものであると認識し、こども狂言塾も今年をもって中止します。しかし、来

年5月4日の発表の場がなくなること非常に危惧されていますので、別の発表の場を設けたいと考えています。

問 未来型児童館の予算執行中止について。

答 (市長) 計画作成業務の契約決定過程に不備があり、入札手続の内容と理由を再度精査します。また、未来型児童館の目的について、ほかの子育て施策を含め、もう一度整理する必要もあると考え、中止しました。

問 未来型児童館の方向性について。

答 (市長) 何をもって未来型と言うのか分かりませんが、子育て施策を総合的に検討していく中で、児童館のあるべき姿を方

向づけていかなければならないと思っています。まずは出発点の契約関係の精査から対応したいと考えます。

問 所信表明における親の子育て力の低下と言う発言には、どんな考えがあるのか。

答 (市長) こども園では、保育士さんの朝の2時間の仕事がおむつ替えであると聞きました。預ける側の保護者がきちんとおむつ替えしていくのが当たり前でしたが、預けないと損という認識になってきているのではと危惧しています。そのような点を総合しての表明です。

■その他の質問項目

・加西 STEAM について



産業振興について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 私は産業振興はとても大事な事だと思っています。農業も含めて、当然、福祉や教育など様々な問題を解決していかなければならないわけですが、お金がかかります。そこを稼いでいくために産業振興に取り組み、加西市で働く場所、また、企業に頑張っていただいて税金をしっかりと納めていただく、そして加西市の財政を潤して、いろんな事業ができると思っています。

加西インター産業団地を中心とした産業振興について、高橋市長の考えをお聞かせ願いたい。

答 (市長) 副市長選任についての提案説明でも申し上げましたが、彼が加西インター産業団地整備を推進してくれたおかげで、今の加西市があると思っています。そういう点も踏まえ、どんどん進めていかなければならないと考えています。

ただ、今、どの企業も従業員不足に悩んでいます。いつまでも産業団地整備が続けられるのかという不安感もありますが、リスク回避を取った上で進めていますので、その点では安心しています。これまでのように、造成して進出企業を募集するようではリスクが大き過ぎます。今回の場合は進出企業が決まってからの造成で、非常によい方法だと思っています。

選挙中にも「従業員不足のために、投資したいが後を考えると困る。」という声を多く耳にしまし

た。今、産業界もデジタル化を進めなければならないという任務を負っていると思います。その点も産業界とよく協議して、投資について支援できるものは支援していきたいと考えます。

要望 従業員の確保もとても大事なことです。加西インター産業団地の3工区、5工区について、本当に進出企業が決定するのか不安もあります。手続の関係上、ほかの建物の建設は難しいと聞いていますが、学校や病院などが建設できないのか、要望とします。

■その他の質問事項

・選挙ポスター掲示板について
・圃場整備について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

働く姿勢と意識改革



問 加西市における業務改善の取組について。

答 市民がインターネット上で申請等の手続きができるよう、行政のデジタル化に取り組んでいます。また、市役所内の取組として公文書管理システムを導入し、文書の適切な管理や電子決裁によるスピード化、紙資源の省力化を図っています。その他、職員から業務改善の提案を求めています。毎年約 50 件あり、すぐに対応するものなど、検討結果を全職員にフィードバックしています。

問 職員の意識改革の取組について。

答 役職段階に応じた階層別研修や対応マネジメント、説明力向上研修といった人材育成の取組を通じて意識改革に取り組んでいます。

問 市長として市職員に望む意識や行動について。

答 (市長) 初登庁の際の職員への訓示において、職務遂行に当たっての心構えを申し述べました。

まず、市民を第一に考える。高慢になっていないか常に省みる。相手の立場で考える。誰一人取り残さないという意識を持つ。ふるさと納税による豊富な財源で甘さが出ているか常に点検する。大事なことは面倒くさい。誰もしな

い面倒くさいことをすれば残っていく。選択肢がある場合は、安易なほうよりも苦労・苦心するほうを選択するということです。

そのために、職員は市民の声をしっかり聴くこと、また、足を運ぶ労力を惜しまないこと、汗をかくことを避けて通らないことが非常に重要であると思っています。

要望・提案

- ・市民に寄り添った対応を。
- ・職員の意識改革やモチベーションアップに、クレド (Credo) という手法を参考にしては。

クレド…職員全体が心がける信条や行動指針のこと。目的や意義を共有し、モチベーションアップにつなげる仕組み。

■その他の質問項目

- ・令和 5 年度加西市長・市議会議員議選について



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

農業の活性化に向けた具体的な施策はあるのか



問 加西市の農業に対する高橋市長の評価は。

答 (市長) 加西市の農業は非常に頑張っており、特に野菜、花卉、果樹の経営について顕著だと思っています。大半を占める水稲は厳しい状況ですが、近隣市町に比べ、また全国的にも集落営農という形で頑張っています。

しかし、担い手不足となっており、スマート化等による省力化で担い手不足、後継者不足に対応できるよう考える必要がありますが、簡単ではありません。国策によるところが大きいと思います。

加西市だけでできることは限られていますが、その中でもできる限り対応していきたいと考えます。

問 担い手・後継者不足の根本的な問題が解決されなければ農業の活性化につながらない。この問題に対する市長の認識は。

答 (市長) 農業は労力の割にもうからない、しんどいというのは既成の事実です。その中で肥料高騰や米価の低下、機械の高騰など環境が悪化しています。抜本的な解決は難しいですが、スマート化等で支援していきたいと考えます。

問 所信表明では「市内に多くある農業関連施設との連携を一層密にすることにより、担い手の育成・確保、新規就農者の受入れを促進する。」と説明があった。市長の具体的な考えについて。

答 (市長) 所信表明で申し述べた内容の実現に向け、個々の施設と様々な協議を重ね、多くの方策を見つけていきたいと考えています。

問 播磨農高や神戸大学農学部など、農業の担い手になり得る方は多いのではないかと卒業後に加西市で就農することができるよう、学校とつながりを強めていくことはできないのか。

答 (市長) 貴重な提案の一つだと考えています。今後も様々な提案について検討し、前向きに取り入れていく方針です。

■その他の質問項目

- ・若い世代について
- ・総合運動場・総合体育館について
- ・デジタル化の促進



土本 昌幸 議員
(公明党)

地域防災力の強化について



問 2021年施行の改正災害対策基本法では、個別避難計画の策定が自治体の努力義務となっています。6月の代表区長会で配付された自主防災組織訓練マニュアルで概略の説明がありました。その内容と本市の状況について答弁を求めます。

答 加西市では令和元年度から個別避難計画の策定に取り組んでいます。コロナ禍で自主防災組織訓練ができなかったため、6月の代表区長会において、その指針となる自主防災組織訓練マ

ニュアルを各区長様に配付しました。

問 次に、訓練の実施状況についてお聞きします。避難行動要支援者一人一人について、誰の支援で、どこの避難所等に避難するのか計画を作成して訓練をするとありますが、この個別避難計画の作成と訓練の実施について答弁を求めます。

答 具体的な取組としては、令和元年度に九会地区の一部において、避難行動要支援者を対象とした防災訓練を実施しました。その後、九会地区の一つの自治会をモデルケースとして、個別避難訓練計画の策定の实地研修について社会福祉協議会と共同で取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ3年間は活動ができていない状

況です。

今年度、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことを受け、自主防災組織訓練マニュアルを各区長様に配付して、訓練の実施、個別避難計画の策定について協力依頼を行っています。今後も、自治会と共に個別避難計画の策定及び避難訓練を実施したいと考えています。

要望 加西市は豪雨災害については起きにくい地域ですが、日頃の防災力の強化が重要であり、避難訓練の実施について要望しておきます。

■その他の質問事項

- ・ 税務行政について
- ・ 空き家対策について
- ・ 北条鉄道の利便性向上について
- ・ 地域交通の方向性について



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

産後ケアの未来



問 産後ケア事業の種類と対象者、昨年度の状況及び加西病院における現状について。

答 産後ケアは宿泊型、日帰り型、訪問型の3種類です。平成28年度に生後4カ月までの乳児と産婦を対象に開始し、現在は出産後1年未満の育児に不安のある方に対象を拡大しています。昨年度は14名が利用され、宿泊型8名で延べ20日、日帰り型5名で延べ9日、訪問型7名で延べ31日でした。加西病院は、新型コロナウイルス感染症流行や助産師不足から、令和3年度は宿泊型2日、日

帰り型9日の利用でしたが、令和4年度は利用がありませんでした。

問 産後ケア事業実施に当たっての課題について。

答 産後ケアを受けるべき状況の方を把握できていない潜在ケースを懸念しています。また、利用に抵抗を感じる方や事業内容を知らずに利用されない方もあります。加えて、外国籍の妊産婦が増加傾向にあり、昨年度の母子健康手帳交付192件のうち、母国語が日本語以外の妊婦は15件で7.8%、今年度は6月末現在で交付50件のうち8件、16%となっています。文化の違いや言葉の面から産後ケアの利用に至らない方もあり、支援につなげる必要性を感じています。

問 今年度の事業実施の状況と取組について。

答 生活の場における課題解決として訪問型も進めており、訪問事業所の開拓が重要になっています。また、宿泊型や日帰り型においても身近な加西病院に受けていただくことが必要と考えます。市外での出産が増え、市外の病院との連携強化や産後ケア事業所の開拓も必要と考えています。

問 今後の方針について。

答 産後ケアを地域全体へ普及啓発するとともに、関係機関と連携を強化し、産後ケア事業の受皿の拡充についても検討したいと考えます。

要望 産科の医師確保が難しい現状だからこそ産後ケアは必要です。未来を担う世代のため、新加西病院においても産後ケアの体制整備を望みます。

播磨国風土記事業の継続を願う



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)



問 平成 25 年度からの播磨国風土記事業の取組について。

答 播磨国風土記編さん 1300 年となる平成 27 年に向けて、風土記を学び、古代のふるさとを知ることで、ふるさと加西に対する愛着や誇りを持ち、育むことを目的として開始しました。

新しい文化の創造事業として、根日女伝承を能狂言でよみがえらせ、地域の活性化と郷土愛を育むため、梅原猛氏による新作能「針間」、野村萬斎氏による新作狂言「根日女」を制作しました。能狂

言イベントは令和 4 年まで 7 回開催し、合計で 4,928 人の来場がありました。また、光田和伸氏による播磨国風土記講座は 42 回開催し 4,527 人の受講がありました。こども狂言塾の塾生は、第 9 期生まで合計 104 名が学び、豊かな表現ができるようになりました。

問 この事業によって、播磨国風土記に興味を持ち、能狂言を鑑賞し楽しむという、お金に代えられない心の豊かさが培われてきた。新作能、狂言を創作し、加西市の名が全国にとどろきました。これらを市長はどのように評価されているのか。

答 (市長) 市外への情報発信の成果は否定しませんが、一方、市民の参加率やこども狂言入塾者数が減少しているなど、市内に向けては独り歩きの感が拭えま

せん。特に、1 時間に 1,000 万円もの予算が市外へ流れていると問題視される市民も多く、中止することを決断しました。

問 費用面だけで一方的に中止し、子供たちの意欲をそいでしまうのではなく、新作能、狂言を引き継いでいくことが、これからの加西市にとって必要だと思うが。

答 (市長) 1,000 万円の市の予算をもっと身近な、地域伝統文化、祭りの承継支援へ有効活用していきたいと考えています。

意見 加西市の援助がなくなったとしても、こうした文化は継続していかなければならないと思います。どうしていくかは、市民全体で考えていかなければならないと思います。

市長の政治姿勢の丁寧な説明を！



森田 博美 議員
(清流会・かさいを育む会)



問 加西病院や学校再編等の見直しを表明する市長の所信表明には詳細が発表されると認識していたが、説明が不十分であるがゆえに無理筋の方針転換と言わざるを得ない。特に、病院建設は議会として予算を議決している。その議会に対しては、行政の最高責任者として説明が必要ではないか。方針転換に伴う無用な混乱は避けなければならないのでは。

答 (市長) 施政方針とは違うために文書配布せず、話し言葉での表明で内容的に短くし、全

て網羅せず割愛した所信表明としました。病院については、3 月時点で費用が 138 億円と知り、様々な政治活動的な決起集会等ではきちんと述べてきました。

問 病院建設の見直しが無理筋にならないか、見直しはあるのか、そのめどはあるのか、確信はあるのか、それらが伝わっていない。関係機関との信頼関係が維持できるのか危惧するが。

答 (市長) 誤解されているようですが、病院建て替えには反対していません。現地での建て替えには無理があり、高額な経費増となります。現状案では非常に大きな信用失墜になるとの判断から、建築の問題と理解しています。

問 所信表明にない産科開設について、新規設備費の見積

り、医師と看護師の必要数等を検討された意見表明なのか。

答 (市長) 加西病院の中での開設は非常に難しく、可能性はほぼゼロに近いと思います。ただ、開業医の進出を考えています。

問 加西病院はいつ新しくなるのか。学校はどうなっているのか不安に思う市民も多数いることを踏まえて説得力ある内容で説明すべきではないか。

答 病院は予定より 2～3 年遅れ、前倒しが可能なら早期に進めたいと考えます。

意見 文書による所信表明は前例がなくとも、加西市にとっての大転換の内容から、行政の責任者として話し言葉であっても重要な部分は説明すべきではないか。

市議会トピックス

令和5年9月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会議
9月1日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
9月5日(火)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
9月11日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
9月12日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
9月13日(水)	10:00	本会議(予備日)
9月15日(金)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
9月19日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月20日(水)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月21日(木)	9:00	予算決算常任委員会総務分科会(予備日)
9月26日(火)	9:00	予算決算常任委員会(全体会)
9月28日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

9月定例会での取扱いについては締め切っています。これから提出される場合は12月定例会での取扱いとなりますので、ご了承ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。



編集後記

6月臨時会において議会の新体制が決まりました。今後2年間、この体制で議会活動が行われていきます。

議会だより編集委員会も委員が入れ替わり、新メンバーによる初めての加西市議会だよりの発行となりました。市民の皆様がより読みやすく、分かりやすい広報に努め、紙面を通して議会活動の情報公開はもとより、説明責任を果たしてまいります。

市民の皆様と議会をつなぐよう頑張っておりますので、ご意見をどうぞお寄せください。



議会だより編集委員会	
委員長	下江 一将
副委員長	西脇 親
委員	高橋 佐代子
委員	高見 博道
委員	橋本 真由美
委員	森元 清蔵

議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 下江 一将
委員 高橋 佐代子
委員 橋本 真由美

副委員長 西脇 親
委員 高見 博道
委員 森元 清蔵